

高驗りしを感得す舊記曰人王十二代景行天皇即
位元年辛未六月陸奥國大泉の庄血をり上手向の丘の
皇の陵に鎮座同二十年癸亥武内宿禰勅依て北陸神
の祠を造りて皇清釋迦堂草創の年代推しをうし
同処開山をいふも年中宗上義之再興の権れり同所
元和年中より後送之の影堂に義之の位牌あり香衡
妹徳尼公の肖像本社の中より天慶年中平将門大室送
之るに傳し上羽還大泉の庄羽還山五重塔棟れり云々
年中平将門本尊地を善處の像とて皇清釋迦とて安

置す刻五重の塔と建つ其後平高將正和二年建立
大寶寺に於て遷移す多宗政氏再興人皇百一代四聖院
の法堂永^{天授}和二年六月八日本尊大自在菩薩南都運
遷化

慶長十三年七月廿七日羽守義之修造志村伊豆守之安
下對馬守康久以上

とりて蘇きの以てまがもちるありたもりし今
いふ名をあらうとわ——法書の説を信ずる迄
加之者也